

ふよう



学校だより No.90

静岡大学教育学部附属特別支援学校

『 昼休みの子どもたちと先生方 』

校長 成岡 裕司

日常生活の指導(給食時間)が終了すると昼休みの時間です。学部により違いますが、30分程度の時間です。小学部の子どもたちは、先生と一緒に外に出てきます。友達と一緒に先生に言葉を掛けて「追い掛けっこ」の始まりです。どんな言葉を掛ければ、先生や教育実習生が追い掛けて来てくれるかを自分で考え、友達をまねたりして「キャッキョ」と声を挙げ、笑顔で逃げ回ります。先生も「行くぞ～」と声を挙げ、笑顔で追い掛けます。授業時間ではないので堅苦しい目的はありません。子どもと先生方の自然な関わりが最高です。その様子を見て、中学部や高等部の生徒が参加することもあり、大追い掛けっこ大会になる日もあります。中学部と高等部の子どもたちは、友達と一緒にグランドに出てきます。ボールを使って野球をしたり、サッカーをしたりして一生懸命にボールを追いかけています。ルールは子どもたち同士で考え、勝敗も関係なく一緒に笑顔で楽しむ時間です。先生方が参加することもあります。先生のボールさばきに「凄～い」や「カッコいい」と言葉を掛けています。先生もまんざらではなく、終始笑顔です。授業時間ではないので堅苦しい目的はありません。子ども同士の、子どもと先生の自然な関わりの時間が最高です。教室で本を読んだり、パソコンを使って自分の好きなことやものを調べたりしている子どももいます。その傍で先生が笑顔で見守っています。先生と話をしている子どももいます。「先生、知ってる～」と授業でやったことや覚えたことを自慢げに話しています。その話を「知らなかった」や「凄いな」と笑顔で答えている先生がいます。授業時間ではないので堅苦しい目的はありません。私は、この昼休み時間が本校の子どもたちにとって大事な時間だと感じています。「昼休み」に決め事はありません。子どもが、自分の経験をもとに自分で考え、自分の前にいる相手に自分の想いを伝え、自由に関わる貴重な機会であり、自分の力を発揮する時間だからです。



ふぞく未来まつり

2月7日(土)にふぞく未来まつりが開催されました。『ハッピー』をテーマに一人一人が主役となり、まつりを盛り上げ観客と共にハッピーなひと時を過ごしました。



当日は、本校児童生徒の美術作品や交流校である城北高校の書道作品、外部団体の作品も展示され多くの方が鑑賞していました。

午後のステージ発表は、有志の参加者や静岡大学学生の演奏、ダンスグループ参加者、本校体育科の教員が盛り上げてくれました。

小学部

題名：『ふぞくWAZAコンテスト』

ねらい：自分の役割が分かり、主体的に取り組む姿

得意なこと、自慢できることを「技」として、「ふぞくWAZAコンテスト～舞台に立って、光輝け！～」を開催しました。発表の流れや自分の動きを覚え、それぞれの技の動きがスムーズになってきたり、大きな動きで発表できたりと、練習を重ねることで子どもたちの頑張りや成長を感じられ、うれしく思いました。また、友達の発表を見て「すごい！」と驚いたり、友達の音に合わせて演奏したりと、子どもたちで認め合う姿にも感動。すてきな発表会でした。



6年生3人の発表。文字やマークのカードを貼って、『ふぞくWAZAコンテスト』の看板を作りました。看板ができたら、3人で協力して、開会宣言。力強く宣言していました。



マットの前転、跳び箱開脚跳び、平均台など器械運動に挑戦。平均台では、持っているお玉や皿から卓球の球を落とさないように、慎重に渡っていました。



前半は、6人でボール体操。持っているボールを上・下・右・左と向きをそろえて踊りました。後半は、ストラックアウト。的をよく狙って投げました。



『茶色の小瓶』を演奏しました。クラベスグループは友達とタイミングを合わせて丁寧なリズムを、木琴グループは友達と音を分担して旋律を弾きました。キーボードグループは両手で旋律と伴奏を弾きました。



『舞台に立って』の曲に合わせて、小学部全員で踊りました。前半は、リズム打ちや準備体操の振り。体が温まってきたところで、全力ダッシュ！！四つのメダルをGETしました。

中学部

ステージ発表

題名：『中学部！！バンブーフェスティバル！！』

ねらい：今年度学習したことを活かしつつ、自分の得意を披露する

今年度は、総合的な学習の時間に取り組んだ「放任竹林の有効活用」をテーマに、『スポーツ』『アートカルチャー』『ミュージック』の3つのチームに分かれて発表を行いました。子どもたちから様々なアイデアを出しながら発表内容を考えました。活動を繰り返す中で自分の役割が分かり、本番でどのような姿を見せたいかを考えながら練習に取り組み、当日は一人一人がその目標を達成する素晴らしい姿を見せることができました。

スポーツ



「器械運動」と「バンブーダンス」を発表しました。最後は、チームのみんなで格好良くポーズを決めることができました。

アートカルチャー



わらべ唄を歌ったり、歌詞に登場する生き物を描いた絵を披露したりして「竹取物語」の世界を表現しました。

ミュージック



「リズムで竹太鼓」「ダンスで竹太鼓」を披露しました。仲間と息を合わせて格好良い姿勢やキレのある振付を見せました。

ボディーパーカッション

Mrs. GREEN APPLE の『GOOD DAY』に合わせて、生徒 15 人全員と教師でボディーパーカッションを披露しました。仲間とリズムや動きを合わせたり、ペアとハイタッチをしたりするなど、シンクロしたパフォーマンスを見せることができました。



作業製品販売会

お客様に喜んでもらうために、クラフト班はコースターや巾着袋などの布製品、園芸班は大根や切干大根、さつまいもチップスを準備してきました。当日は大勢のお客さんに驚きながらも、丁寧な接客で自慢の製品を販売し、お客様の反応に満足気な子どもたちの姿が見られました。



高等部

題名：『夢をつかめ 高等部』

ねらい：仲間との「連携」で自分たちの良さを「伝える」

今年度の高等部のステージ発表は、例年の「体育グループ」、「文化グループ」、「3年生ステージ」に加え、生徒全員で『JF ソーラン』の披露と『旅立ちの時』の斉唱を行いました。

高等部で伝統的に踊り続けてきた『JF ソーラン』を、「自分たちが引き継いで踊りたい！」と練習を重ね、大きな掛け声やぴたりと止まる決めポーズ等、大迫力のパフォーマンスでした。



「体育グループ」は『最高到達点』や『はいよろこんで』の曲に合わせて、フラッグ・器械運動・ペンライトの3部構成でパフォーマンスを披露しました。スピード感があり、体を大きく使った表現は曲にぴったりと合い、たくさんの歓声をいただくことができました！



「文化グループ」では、「和」をテーマにしたオリジナルの「ぎんなんくん」灯籠人形を作って神輿として担ぎ、祭りを繰り広げました。「わっしょい！」の掛け声で会場を沸かせました！



「3年生ステージ」では、附属最高学年としてみんなの「カリスマ」になることを目指し、ダンスとスピーチを行いました。一人ひとりが自分の過去と未来に想いを馳せ、幼少期から現在にいたる自分の写真と共に、未来への希望や決意を、後輩や家族に向けて発表しました。



最後の発表は生徒全員による『旅立ちの時』の斉唱です。朝の時間や昼休みなども使って練習をしました。体育館一杯に生徒たちの歌声が響き渡りました。

